

内 装 改 修 工 事	22 吸音材	[表6.13.1] 種 類 ・ロッキング吸音材*1号 ※ガラスウール吸音材*2K 記 号 RW-B GW-B 厚さ(mm) ※25 ※25	6 23 壁紙張り	[6.14.2] 施工箇所 壁紙の種類 紙製 織物 ビニル 化学繊維 無機質 防火性能の級別 備考 ※不燃・準不燃・難燃 ※不燃・準不燃・難燃
	24 モルタル塗り	モルタル・現場調合材料 (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) 既製目地材 ※適用しない 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置	24 モルタル塗り	[6.15.3] モルタル・現場調合材料 (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) 既製目地材 ※適用しない 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
	25 タイル	タイルの種類 施工場所・用途 形状寸法 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 その他性能	25 タイル	[6.16.3] タイルの種類 施工場所・用途 形状寸法 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 その他性能
	26 セラミックタイル材塗り	タイルの見本焼き タイルの試験張り 張付モルタル 下地モルタルを行うコンクリート素地の下地処理の方法 壁タイル張りの工法 内装タイル ※内装タイル接着剤張り工法 エントタイル(内装タイル以外) 塗厚	26 セラミックタイル材塗り	[6.16.2] タイルの見本焼き タイルの試験張り 張付モルタル 下地モルタルを行うコンクリート素地の下地処理の方法 壁タイル張りの工法 内装タイル ※内装タイル接着剤張り工法 エントタイル(内装タイル以外) 塗厚
	27 フリーアセリア	工 法 ・支柱固定タイプ ・支柱非固定タイプ ・支柱分離型 ・支柱一体型 ・支柱調整式 ・置敷式 仕上り高 適用地震時 耐荷重性能 表面仕上げ材	27 フリーアセリア	[20.2.2] 工 法 ・支柱固定タイプ ・支柱非固定タイプ ・支柱分離型 ・支柱一体型 ・支柱調整式 ・置敷式 仕上り高 適用地震時 耐荷重性能 表面仕上げ材
	28 可動間仕切	コソト等の取付け対応 仕様 コソトの箇所数 配線取出し フリーアセリアの全体面積に対する設置割合 配線取り出し開口 空調用吹き出し ※有り	28 可動間仕切	[20.2.3] コソト等の取付け対応 仕様 コソトの箇所数 配線取出し フリーアセリアの全体面積に対する設置割合 配線取り出し開口 空調用吹き出し ※有り
	29 移動間仕切	操作方法 ・手動式 ・電動式 ・部分電動式 構造形式 ※A 枠式 ※B 枠式 不燃材料の認定	29 移動間仕切	[20.2.4] 操作方法 ・手動式 ・電動式 ・部分電動式 構造形式 ※A 枠式 ※B 枠式 不燃材料の認定
	30 トイレブース	表面仕上げ材 脚部 ドア	30 トイレブース	[20.2.5] 表面仕上げ材 脚部 ドア
	31 階段手すり	種類及び仕上げ ※集成材 ※ビニル製 材 種 形 状 両端フット 幅 取付け工法	31 階段手すり	[20.2.6] 種類及び仕上げ ※集成材 ※ビニル製 材 種 形 状 両端フット 幅 取付け工法
	32 階段消止め	材 種 形 状 両端フット 幅 取付け工法	32 階段消止め	[20.2.7] 材 種 形 状 両端フット 幅 取付け工法

内 装 改 修 工 事	33 黒板及びホワイトボード	種類 ・黒板 ・ホワイトボード	33 黒板及びホワイトボード	[20.2.9] 種類 ・黒板 ・ホワイトボード
	34 室名札、案内板等	材 種 ※塩化ビニル製 ※樹脂製 ※県産杉板材	34 室名札、案内板等	[20.2.11] 材 種 ※塩化ビニル製 ※樹脂製 ※県産杉板材
	35 ブラインド	・既存再使用する(養生方法: ・新設する	35 ブラインド	[2.3.1][5.1.6] ・既存再使用する(養生方法: ・新設する
	36 プラントボックス及びカーテンボックス	・既存再使用する ・新設する ※市販品	36 プラントボックス及びカーテンボックス	[5.1.6] ・既存再使用する ・新設する ※市販品
	37 ロールスクリーン	操作方法 ・アップリフト式 ・コード式 ・電動式	37 ロールスクリーン	[20.2.15] 操作方法 ・アップリフト式 ・コード式 ・電動式
	38 カーテン及びカーテンレール	カーテン ・既存再使用する ・新設する 取付箇所 形 式 開閉操作方式 ひだの種類 きれ地の種類、品質、特殊加工品	38 カーテン及びカーテンレール	[2.3.1][5.1.6] カーテン ・既存再使用する ・新設する 取付箇所 形 式 開閉操作方式 ひだの種類 きれ地の種類、品質、特殊加工品
	39 天井点検口	目地形状 ・額縁タイプ ・目地タイプ	39 天井点検口	[5.1.6] 目地形状 ・額縁タイプ ・目地タイプ
	40 床下点検口	本体の材質 ※7M2製 ※ステン製	40 床下点検口	[5.1.6] 本体の材質 ※7M2製 ※ステン製
	41 くつふきマット	市販品 材質 ・塩化ビニル製 ・ビニル製 ・硬質7M2製 ・ステン製	41 くつふきマット	[5.1.6] 市販品 材質 ・塩化ビニル製 ・ビニル製 ・硬質7M2製 ・ステン製
	42 人研ぎ製流し等	※サツゲ 厚さ ・再研ぎ出し	42 人研ぎ製流し等	[5.1.6] ※サツゲ 厚さ ・再研ぎ出し
43 屋内掲示板	改修工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法	43 屋内掲示板	[5.1.6] 改修工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法	

内 装 改 修 工 事	44 しっくい塗り	※施工箇所 室 名 部 位 ※左官業者 新潟県左官業協同組合 以下、同様。) ※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法 使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。 上記以外については、「既調査しっくい塗り標準仕様書」(新潟県土木部都市局営繕課)による。	44 しっくい塗り	[7.1.3] ※施工箇所 室 名 部 位 ※左官業者 新潟県左官業協同組合 以下、同様。) ※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法 使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。 上記以外については、「既調査しっくい塗り標準仕様書」(新潟県土木部都市局営繕課)による。
	1 塗装業者	※塗装工事は、以下のいずれかの施工業者(元請業者又は一次下請業者に限る)による施工とする。 ○新潟県内に主たる事業所を置く事業者であり、かつ以下のいずれかの資格を有する者が所属している事業者。なお、当該資格を有する者が本工事の施工に関与することとする。契約後、証する資料の写しを提出し監督員の確認を受けること。 ・建築仕上げ改修施工管理技術者〔(一財)建築安全センター〕 ・登録建設塗装基礎技術者〔(一社)日本塗装工業会〕 ○(一社)日本塗装工業会会員	1 塗装業者	[7.1.3] ※塗装工事は、以下のいずれかの施工業者(元請業者又は一次下請業者に限る)による施工とする。 ○新潟県内に主たる事業所を置く事業者であり、かつ以下のいずれかの資格を有する者が所属している事業者。なお、当該資格を有する者が本工事の施工に関与することとする。契約後、証する資料の写しを提出し監督員の確認を受けること。 ・建築仕上げ改修施工管理技術者〔(一財)建築安全センター〕 ・登録建設塗装基礎技術者〔(一社)日本塗装工業会〕 ○(一社)日本塗装工業会会員
	2 材料	屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。	2 材料	[7.1.3] 屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。
	3 下地調整・素地	素地の種類 下地調整 素地ごしらえ 施工箇所 木部(不透明塗料) 木部(透明塗料) 鉄鋼面 鉄鋼面(DP塗) 垂鉛めっき鋼面 モルタル・せっこう*1ラスタ面 コンクリート面・ALC*1 枠面 押出成形モルタル板 DP塗装におけるコンクリート面 せっこう*1面等(継目処理) せっこう*1面等(上記以外)	3 下地調整・素地	[7.2.1~7.2.7] 素地の種類 下地調整 素地ごしらえ 施工箇所 木部(不透明塗料) 木部(透明塗料) 鉄鋼面 鉄鋼面(DP塗) 垂鉛めっき鋼面 モルタル・せっこう*1ラスタ面 コンクリート面・ALC*1 枠面 押出成形モルタル板 DP塗装におけるコンクリート面 せっこう*1面等(継目処理) せっこう*1面等(上記以外)
	4 錆止め塗料塗り	既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による)・行わない 錆止め塗料の種類 下地の種類 ・鉄鋼面 ・DP塗り ・EP-G塗り ・錆止め塗装のまま ・垂鉛めっき鋼面 ・DP塗り ・EP-G塗り	4 錆止め塗料塗り	[7.4.2] 既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による)・行わない 錆止め塗料の種類 下地の種類 ・鉄鋼面 ・DP塗り ・EP-G塗り ・錆止め塗装のまま ・垂鉛めっき鋼面 ・DP塗り ・EP-G塗り
	5 合成樹脂調合	閉止め塗料の種類 下地の種類 ・鉄鋼面 ・垂鉛めっき鋼面 ・DP塗り	5 合成樹脂調合	[7.4.3] 閉止め塗料の種類 下地の種類 ・鉄鋼面 ・垂鉛めっき鋼面 ・DP塗り
	6 クリヤック塗り(CL)	塗替えの種類 A 種 B 種 新設塗りの種類 A 種 B 種 A 種の場合、工程2を適用する(着色に用いる塗料の種類)	6 クリヤック塗り(CL)	[7.6.2] 塗替えの種類 A 種 B 種 新設塗りの種類 A 種 B 種 A 種の場合、工程2を適用する(着色に用いる塗料の種類)
	7 フタル樹脂系非水分散形塗料(NAD)	下地の種類 コンクリート、モルタル面等	7 フタル樹脂系非水分散形塗料(NAD)	[7.7.2] 下地の種類 コンクリート、モルタル面等
	8 耐候性塗料塗り(DP)	下地の種類 塗替えの種類 新設塗りの種類 上塗り塗料 鉄鋼面 垂鉛めっき鋼面 コンクリート面及び押出成形モルタル板	8 耐候性塗料塗り(DP)	[7.8.2] 下地の種類 塗替えの種類 新設塗りの種類 上塗り塗料 鉄鋼面 垂鉛めっき鋼面 コンクリート面及び押出成形モルタル板
	9 つや有合成樹脂	下地の種類 塗替えの種類 新設塗りの種類 上塗り塗料 コンクリート面、モルタル面等 木部 鉄鋼面 垂鉛めっき鋼面	9 つや有合成樹脂	[7.9.2] 下地の種類 塗替えの種類 新設塗りの種類 上塗り塗料 コンクリート面、モルタル面等 木部 鉄鋼面 垂鉛めっき鋼面

工 事	10 合成樹脂	塗替えの種類 A 種 B 種 C 種 新設塗りの種類 A 種 B 種	10 合成樹脂	[7.10.2] 塗替えの種類 A 種 B 種 C 種 新設塗りの種類 A 種 B 種
	11 クラシフィック	塗替えの種類 A 種 B 種 新設塗りの種類 A 種 B 種	11 クラシフィック	[7.11.2] 塗替えの種類 A 種 B 種 新設塗りの種類 A 種 B 種
	12 ビンテージ	※既調合製品	12 ビンテージ	[7.12.2] ※既調合製品
	13 木材保護塗料塗り(WP)	塗替えの種類 A 種 B 種 新設塗りの種類 A 種 B 種	13 木材保護塗料塗り(WP)	[7.13.2] 塗替えの種類 A 種 B 種 新設塗りの種類 A 種 B 種
	1 レーミクストコンクリート	レイミクストコンクリートの種類 ※I 類 ※II 類 設計基準強度 Fc(N/mm ²) ※2.4 合板せき板を用いる場合の打放し仕上げ コンクリートの仕上りの平たんさ	1 レーミクストコンクリート	[8.1.3] レイミクストコンクリートの種類 ※I 類 ※II 類 設計基準強度 Fc(N/mm ²) ※2.4 合板せき板を用いる場合の打放し仕上げ コンクリートの仕上りの平たんさ
	2 鉄筋の種類	種類の記号 ・SD295 ・SD345	2 鉄筋の種類	[8.2.1] 種類の記号 ・SD295 ・SD345
	3 溶接金網	網目の形状 寸法(たて×よこ) ※100×100 鉄筋の径または呼び ※6.0	3 溶接金網	[8.2.2] 網目の形状 寸法(たて×よこ) ※100×100 鉄筋の径または呼び ※6.0
	4 あと施工アンカー	引張耐力、せん断耐力 アンカーの径、埋込み長さ あと施工アンカーの材料 ※金属拡張アンカー ※接着系アンカー ※接着系アンカーの新設壁内への定着長さ	4 あと施工アンカー	[8.2.4] 引張耐力、せん断耐力 アンカーの径、埋込み長さ あと施工アンカーの材料 ※金属拡張アンカー ※接着系アンカー ※接着系アンカーの新設壁内への定着長さ
	5 セメントの種類	※普通 ※高炉 ※シリカ 普通 水和熱 7d 28d	5 セメントの種類	[8.2.5] ※普通 ※高炉 ※シリカ 普通 水和熱 7d 28d
	6 骨材の品質	7M2リシ反応性による区分 ・A ※B	6 骨材の品質	[8.2.5] 7M2リシ反応性による区分 ・A ※B